

810 升本重夫君より佐藤理事宛来信

〔『法学新報』第34卷8(391)号 大正13年8月3日〕

○升本重夫君より佐藤理事宛来信 拜啓其後は御無沙汰仕候処  
校務日々御多忙の御事と存し小生本月七日当地着唯今市中其  
他の見物に忙殺せられ居候天野氏とも面会仕候処中々の熱心  
に御勉強の模様候又好都合にも柴田甲四郎氏とも当地にて  
面会仕候両氏は兩三日中相携へてベルリンへ赴かる由小生も  
今晚当地を退去致す筈に候へば二三月は独逸にて両君と往復  
し得る事と喜び居候須摩君(唐)を加へて中央連四名が独逸ベルリ  
ンへ集り快談を為し得るは面白き事に可有之今より楽み居申  
候 草々敬具

六月十三日

於巴里 升本重夫